



増田労働衛生コンサルタント事務所  
所長 増田稔久

先日、ガムを噛んでいたところ、歯のかぶせ物が外れ歯科に行きました。先生いわく、ガムの噛み始めは粘りが強いから、ゆっくり噛むようにとのこと。

ガムの噛み方まで指導する私の先生は凄いです。安全教育もゆっくり噛み砕き丁寧に行いたいものです。さて、愛知労働局の資料によ

ると、県下の労働災害による死者数（9月末現在）は20人で、前年同期36人を大幅に減少（マインナス44%）しています（表1）。全国の死者数は若干増で、驚いたのが岐阜県内の状況です。本年20人で、前年同期8人から急増（2.5倍）し憂慮すべき事態となっています。

また、愛知が減少した理由がよく分かりません。ですから、10年間を平均した年間の死亡者数49人まで、リバウンドしない心配でもありません。そこで、愛知が急増しないこと、岐阜での発生に歯止めがかかることを願いつつ、3つの対策を提案したいと思います（表2）。

ポケットナシをネタにして、「ながらスマホ」対策、「指差し呼称」の実施などを現場で話し合ってください。  
3、岐阜労働局のホームページを訪ね「死亡災害の発生状況」をご覧下さい。リアルなイラストと同種災害防止の対策例が記されています。この分かり易さは、全国で岐阜局だけでしょう。急増した状況で20件もの事例が解説されています。初めて聞くような状況の事例もあります。これを①拡大コピーして職場に掲示する、②安全ミーティングを行って発生状況と対策を議論する、等の活用は、是非とも行うべきで、真摯な活動は成果が期待できます。

(表1) 愛知・岐阜県の死亡災害発生状況

	令和3年	令和2年前年同期	令和2年確定値
愛知	20人	36人	50人
岐阜	20人	8人	11人

労働局のホームページから引用（令和3年9月末現在）

(表2)

**安全基準の基本的な構成パターン Safety 7**  
「調査・計画・監督・設備・作業・点検・教育」

- (1) 危険源のリスク調査を行う。
- (2) 調査結果を踏まえ、作業計画（作業手順）を立てる。
- (3) 作業計画を作業責任者（指揮者）に監督させる。
- (4) 機械・設備・環境は、必要な安全基準を満たす。
- (5) 作業の特殊性に対応した作業方法により行う。
- (6) 設備等は、年次・月例検査、始業時点検を行う。
- (7) 作業者には、資格等（免許、技能講習）を取得させ、ライン管理者・スタッフ等と共に教育（各級・職長・安全管理者等・特別教育・雇入れ教育等）を受講させる。

(7-2) 作業者等に対しては、5年に1度、再教育を行う。

**「ポ・ケ・テ・ナ・シ」と「4S」**

- 「ポ」は、ポケットに手を入れて歩かない。
- 「ケ」は、携帯電話をしながら歩かない。
- 「テ」は、手すりを使って階段を昇降する。
- 「ナ」は、斜めに通路を横断しない。
- 「シ」は、指差呼称。横断するときは、止まって左右を指差し、「右ヨシ」「左ヨシ」と呼称する。

4Sは、安全で健康な職場づくり、そして生産性の向上をめざす活動で、整理(Seiri)、整頓(Seiton)、清掃(Seiso)、清潔(Seiketsu)を徹底する。5Sは、躰(Shitsuke)が加わる。

1、以前にも紹介した「セーフティー7」の実践です。安衛法令が求める基本的な規制を7項目にまとめてみました。管理者に知って欲しい内容です。

2、「ポケットナシと4S」の運動の展開です。ポケットナシは、ポテナグループが提唱し実践している活動です。

三つの対策は、少々早目の年末の災害防止活動として始めてはいかがでしょう。来年、昨年の労働災害が大きく減少したのは、三つの対策にしっかりと取り組んだからである、と総括出来たと願っています。

**死亡災害が大幅に減少！ 対前年比44%減**  
リバウンドに備える対策を

